

創立25周年 記念沿革誌



2007 額田郡幸田町立南部中学校



創立25周年を祝して

幸田町長
近藤 徳光

南部中学校が、創立25周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

南部中学校は、幸田中学校の過大化を解消するために昭和58年に開校されました。これは、それまでの1町1中学校という幸田町の教育の歴史に新しい1ページを開くものでありました。また、南部中学校の開校は、幸田町に中学校が1校新設されたということにとどまらず、幸田町全体の発展という大きな期待が込められていました。それだけに、開校に関わられた皆様のご苦労とご努力は計り知れないものがあったことと推察され、感謝の念でいっぱいでありませぬ。

以来25年間、歴代校長先生はじめ諸先生方、生徒を愛し地域を愛する献身的なご指導と、学区の皆様温かいご支援のおかげで、着実な成果をあげてこられました。この25年間の揺るぎない足跡は、まさに幸田町民の期待に応え、信頼を高めるものであり、関係者の皆様に深く敬意を表したいと存じます。

昨今は、子どもの安全を脅かす痛ましい事件やいじめ・不登校といった生徒指導上の問題、学力低下傾向への懸念といった教育を取り巻く様々な問題が発生し、社会的議論を呼んでおります。このような中で、南部中学校は「錬磨・探究・友情」の校訓のもと、「生きる力と確かな学力を育てる教育活動」を柱に、積極的な研究推進、活発な生徒会活動などを展開しておられ、誠に心強い限りであります。

25周年という大きな節目を迎えられ、今後さらに魅力ある学校づくりに精進されることを期待するとともに、これまでご支援いただいた皆様方に一層のご尽力をお願い申し上げ、お祝いのことばといたします。



創立25周年を迎えて

P T A 会長
渡邊 元克

25年前を思い起こしてみますと、その頃高校生だった私は、妹が南部中の1期生として幸田中から移るとい話を聞き、羨ましく思ったのを覚えています。当時の南部中周辺は田畑が今以上に多く、私の実家では梅雨を中心にムカデがよく添い寝をしてくれたものです。

さて、昔話はそのくらくらいにして25周年と一口に申しますが、校舎が25年建っているという意味ではありませんね。そこに通う生徒がいて先生方がいて初めて25周年を迎えられるのです。もちろん陰ながら私たちを支えてくれている地域の皆さんの存在を忘れてはいけません。

ともすれば先輩・恩師・地域の方々に対する感謝の気持ちを忘れがちな最近の風潮。確かに、それでも生活はできます。でも『個』を大事にすることで、『全』が上手く機能しなくなっている気がします。近年、暗いニュースを耳にする事が増えてきているように感じます。事の根本に先ほど述べた個>全が人情の希薄さ・他人への無関心を作り出しているような気がします。

幸いにして、この南部中には「錬磨・探究・友情」のすばらしい校訓があり、それを胸にきざみ生徒一人一人が先輩方の残してくれた伝統を守り、素直でのびのびとした人間に成長して毎年巣立っています。

最後に開校から本年までにご尽力いただいた歴代P T A、並びに地域コミュニティの方々にお礼申し上げ、今後の南部中の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



この輝きの先に


南部中学校長
佐橋 正司

1983年に産声をあげた南部中学校は四半世紀の時を経て、今春までに2,551名の卒業生を送り出しました。運動場の南に建つ塑像が開校当時の歴史を刻み、今も変わらずに後輩たちを見守っています。そして、生徒たちは「あいさつ・福祉・歌声」の伝統を着実に受け継ぎ、日々の学校生活を送っています。地域の方々がご指導くださる「交流会活動」、「立志の40kmウォーク」や「南中ソーラン」の活動も歴史は浅いものの伝統の輝きを増しています。

そうした一方で、生徒が安心して生活できるはずの学校にも不審者・変質者の怪しい影が付きまとい、また、少子高齢化社会の到来により、1985年に440名を数えた生徒数は、今や243名と減少しました。また、いじめ・不登校の問題をはじめとする今日的課題が山積し、教育基本法の改正に代表される教育改革の波が押し寄せているのも事実であります。

しかし、開校の精神「やりぬく心」と校訓「錬磨・探究・友情」に込められた願いを受け止め、この25年間本校の教育活動を支えていただいた保護者・地域の皆様のご期待に応えることが、何にもまして大切であると考えます。南部中学校がこれからも地域に根ざした教育を展開できますよう、いっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。そして、今年の南中祭に生徒が掲げたスローガン「祝25周年この輝きの先に」の言葉どおり、さらなる飛躍を遂げることを願うものであります。終わりにりましたが、本記念事業のためにお力添えを賜りました町当局をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

南部中誕生 1983 S58



みんなの温かい祝福と強い期待の中で幸田中学校から分離し南部中学校は誕生した。


ここに集う21名の教職員と381名の生徒たち
新設校にルールはない一人ひとりが道をつくるのだ
みんなで力を合わせて進むのだ
あわてなくてよい
急ぐ必要はない
確かな足どりで進むのだ
輝かしい伝統づくりをめざして(南峰創刊号より)

**友 探 錬 校
情 究 磨 訓**

※生徒数381名

校歌制定 1984 S59

2月
体育館に校歌額を掲額する。作詞者岩瀬先生ご夫妻、作曲者服部先生ご夫妻をお招きし、懇親会を行う。
武道館竣工式・校歌制定発表会並びに校歌碑・除幕式を挙げる。



指揮をする服部良一先生



校歌碑 揮毫 斎藤 巖先生

※生徒数415名

県研究委嘱 1985 S60

4月
昭和60・61年の両年度にわたり県教委より研究委嘱を受ける。研究題目「学習指導 主題「よりよい自己実現をめざす学習指導～学ぶことの楽しさ(充実感)を味わう場を求めて～」



8月
第1回同窓会総会を開催する。弓道場造成工事始まる。

9月
パソコン5台を導入

11月
中庭に植樹をし、整備を完了する。南中祭に協力してP T Aがバザーを開催し、収益金を生徒会に贈る。
※生徒数440名

県研究委嘱発表会 1986 S61

11月
県教育委員会委嘱研究発表会を開催する。研究主題「よりよい自己実現をめざす学習指導」講師 名古屋大学教育学部助教授 安彦忠彦先生。



1月
連風大会



2月
生徒会主催「南中530運動」を始める。

3月
卒業記念品「調和」を中庭に設置、除幕式を行う。
※生徒数428名

創立5周年

6月
全三河学校体育実技指導者講習会の会場となり、2日間にわたり器械運動の講習が行われる。

8月
弓道場改修。運動場にグリーンサーフェス工事を施行する。

9月
開校5周年記念誌の編集作業開始する。

11月
創立5周年記念南中祭を2日間にわたり挙げる。ビッグアート「のびゆく南部中」を制作する。



記念講演「わが野球人生」
谷沢健一 氏

3月
日展評議員 鈴木基弘氏作「きずな」の像を中庭に定礎する。

1987
S62 ※生徒数412名

第1回海外派遣事業開始

5月
第1回南部中学校ごみゼロ運動を実施する。



7月
卓球部男子、西三河選手権大会で団体戦3連覇を達成。

8月
東海大会で、卓球部男子が団体戦で準優勝し、全国大会へ出場する。
幸田町海外派遣事業が始まり、ロサンゼルス・ラスベガス等を視察する。



2月
1989
H1 12月に山田校長が逝去され、追悼式を行う。
※生徒数383名

福祉協力校委嘱 頭髪規定の見直し

8月
卓球部男子、東海大会3位になり、全国大会へ出場する。

9月
女子の夏用制服に長袖を追加。

10月
コンピュータ室を完工する。
学校五日制に移行するための臨時休業日が設定される。
愛知県社会福祉協議会より社会福祉協力校に指定される。



思いやりの心を学ぼう

全国学校給食研究協議会において、文部大臣表彰を受ける。

12月
生徒数減少に伴う庭球部・バスケットボール部・水泳部の部員募集停止を決定する。

2月
1991
H3 校則頭髪規定の改正を実施する。
※生徒数356名

複合選抜制開始

1988
S63

6月
牛乳冷却用冷蔵庫を給食室に設置。第1回進路説明会を開き新入試制度について周知徹底を図る。

10月
職員玄関前ロータリーに日高義夫氏寄贈のヒイラギを植樹。

1月
複合選抜制度の導入に伴い入試日程が早まり、就職者と進学者の激励会を同時に行う。

2月
野名砕石(株)からの寄附金を基金として、校庭に「自琢の塔」を据え、関係者参加のもと除幕式を行う。



※生徒数386名

陸上100m走で全国大会出場

1990
H2

4月
PTA総会にて副会長2人制を承認決定する。

7月
陸上100m走で全国大会出場。

9月
台風19号が襲来し、校庭ヒマラヤ杉・体育小屋及び弓道場シャッターに甚大な被害をうける。

10月
生徒総会で生徒会会則の改正をする(全員が委員会に参加)。初代校長 山本 直先生より三河百選展出品作「心華」を寄贈される。

11月
「MAKE A NEW WORLD」のテーマのもと南中祭を挙げる。弁論大会・声楽家 沢脇達晴先生のバリトン独唱会等を行う。



※生徒数361名

創立10周年

1992
H4

5月
創立10周年記念航空写真を撮る。

9月
学校五日制月1回第2土曜日が学校休業日になる。

10月
10周年記念事業で顕彰碑を建立する。10周年記念植樹をする。町産業課の緑化事業により校章花壇を設置する。



創立10周年記念式典を挙げる。
創立10周年記念誌の発刊する。
記念講演 森ミドリ氏
「花いっときのお話」



※生徒数335名

**全国学生顕微鏡観察
コンクール全国2位**

7月

リサイクル活動により車椅子を「つどいの家」へ寄贈する。

岡額予選大会において弓道部男女が優勝する。西三大会で卓球部男女が準優勝し、県大会に出場する。

8月

県大会において弓道部男子が優勝する。(全国3位)卓球部男子が団体戦で東海大会に出場する。

9月

野球部の部室を完工する。

1月

科学部が全国学生顕微鏡観察コンクールで2位を受賞。

11月

県中学校弓道大会男子団体・個人で優勝。県学生科学賞優秀賞する。「レッツ メイク ア ニュー ヒストリー」のテーマのもと南中祭を開催する。



1993

H5

※生徒数317名

**全国学生顕微鏡観察コンクール
文部大臣奨励賞受賞**

5月

県中学校弓道錬成大会において男子団体が優勝。郡中学校春季大会でバレーボール・卓球部女子団体が優勝。個人の部で卓球部女子が準優勝。

8月

全校クリーン運動で学区を清掃する。



9月

エイズ教育講演(講師 岐阜大学助教授 近藤真庸先生)を実施する。

11月

テーマ「無限の可能性を求め、新しい自分を発見しよう!」をもちに南中祭を実施する。2年生が職場体験学習を行う。

2月

科学部が学生顕微鏡観察コンクールで文部大臣奨励賞を受賞する。

1995

H7

※生徒数261名

創立15周年

5月

創立15周年記念航空写真を撮る。深溝学区敬老会に福祉委員会と音楽部が参加交流。

9月

コンピュータ42台更新する。

10月

創立15周年記念顕彰モニュメントを建立する。全国中学生通信弓道大会で女子3位。



11月

開校15周年を記念しての南中祭(テーマは「心のフィルムに15枚目の感動を今」)を実施する。

1997

H9

※生徒数261名

県弓道錬成大会団体優勝

1994

H6

5月

県中学校弓道錬成大会において男子団体が優勝する。

深溝学区敬老会に本校生徒58名が参加。老人クラブの方を招き、福祉委員会の生徒とゲートボール交流会を実施する。

7月

女子体操服でブルマから短パンに改める。



8月

卓球部女子個人で、東海大会に出場する。

9月

リサイクル運動により車椅子2台を「つどいの家」に寄贈する。

10月

国体炬火リレーが行われる。



※生徒数292名

ソニー教育資金優秀校受賞

1996

H8

5月

プール温水シャワー設置工事が完了する。

7月

岡額大会で卓球部男女がアベック優勝する。西三大会で卓球部男子が団体優勝、卓球部女子が団体準優勝する。

8月

バックネット等の塗装工事が行われる。テレビ取り付け台工事が完了する。

9月

本校の福祉活動に対し、愛知県知事より福祉功労の表彰を受ける。幸田町民会館がオープンし、中学生音楽会が実施される。ゲートボール交流会を実施する。



11月

福祉委員が竹ぼうき作りを実施する。第41回ソニー教育資金論文応募において、優秀校に選定され、表彰を受ける。



2月

生徒会が「日本海重油流出事故」に対して支援活動を行う。この活動を新聞社が取材・報道する。



※生徒数259名

本格的にインターネットの活用開始

4月
インターネットに接続する。愛知県教育放送に関する利用研究校に委嘱される。

7月
岡額大会で剣道部女子、弓道部女子が優勝する。

8月
卓球部女子が県大会に出場し、ベスト8となる。有志67名が「まどかの郷」を訪問し、福祉活動を実施する。



9月
心の教室開設（相談員 三浦みどり先生）。深溝学区敬老会に福祉委員会と音楽部が参加。

10月
福祉実践教室で全校生徒が、車いす、手話、盲導犬の実技体験を実施。

3月
福祉の日として、1、2年生の縦割りグループで福祉活動を実施。
1998 H10 ※生徒数260名

交流会開始

5月
外部講師を招いて11の活動で交流会活動を開始する。

6月
木曜日の5・6限を用いて総合的な学習を開始する。



11月
南中祭を町民会館で実施、車椅子3台を寄贈、弓立まり氏の講演・コンサートを実施する。



1月
一茶まつり俳句と音楽コンクールで幸田町学校文化賞を受賞する。
2000 H12 ※生徒数276名

創立20周年

5月
20周年記念事業の一環としてテニスコートを改修し、駐車場が完成する。記念碑を設置する。

6月
西三河地方事務協議会研究委嘱の研究発表会を実施する。放送大学教授 新井郁男先生を講師に迎え、「生きる力を育てる教育を考える」を演題に記念講演を実施する。400余名の参観者を得、盛会に終える。



8月
各教室にコンピュータを設置。PCルームのコンピュータを更新。

9月
3年生南中ソーランを披露。

10月
南中祭実施。アルミ缶リサイクル協会より表彰される。

11月
20周年記念式典を町民会館において行う。

2月
戦国駅伝で有志チーム優勝。
2002 H14 ※生徒数262名

地域の人に学ぶクラブ活動開始

5月
7クラブで外部講師を招いて活動を開始する。

6月
福祉実践教室（全校生徒が、車いす・手話・盲導犬の実技体験）を実施する。1年生生き方教室（講師 デンソー幸田製作所 村瀬玲子氏）を実施する。

8月
卓球部男子個人で東海大会へ出場する。デンソー50周年記念事業として弦楽器の寄贈を受ける。



※生徒数249名

9月
音楽部が、CBCこども音楽コンクールで優秀賞を受賞する。

11月
南中祭を町民会館で実施、テーマ「心の手をつなぎつたえる思い 友情と感動の贈り物」。車椅子3台を寄贈。本田圭吾氏の講演を実施する。

2月
幸田ライオンズクラブよりデジタルカメラの寄贈を受ける。

1999 H11

Do!Day（総合の日）を設定

5月
地域の講師を招いての交流会活動の講座を13に増やす。

6月
1年生生き方教室（デンソー技術センター短期教育指導員 田上俊一氏）実施する。

7月
3年Do!Do!Do!講演（元デンソー技術研修センター所長 桑門 聡氏）を実施する。Do!Dayを実施する。

9月
音楽部がCBCこども音楽コンクールで優秀賞を受賞、中部地区大会出場権を得る。

11月
学年の日で1年町内20kmウォーク、2年ウォークラリー、3年三ヶ日体験学習を実施する。音楽部がCBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会に出場する。

12月
Do!Dayを実施する。生徒指導研修会（講師 シンガーソングライター 鬼頭瑞希氏）を開催する。

1月
非行防止ポスター作品と音楽コンクールで幸田町学校文化賞を受賞する。カンボジア基金に寄付をする。

2月
3年卒業制作にて20周年記念の看板を製作し取り付ける。



2001 H13

2003
H.15



学級数 9
生徒数 245名
男子 110名
女子 135名
校長 吉口三男

- 4月 平成15年度入学式（入学生89名）・始業式を挙行。新入生歓迎会・校内球技大会を実施。
- 5月 第1回交流会を実施（12講座）。
- 6月 修学旅行を実施。2年生職場体験学習、1年生キャンプの実施。
- 7月 岡額大会で卓球部男子・剣道部男子と卓球男女個人で4名が西三大会出場を決める。前期総合の日を実施。校舎外壁塗装工事開始。
- 8月 3年生で卒業生との懇談会を実施。町中学生海外派遣団員として6名がオーストラリアでホームステイ。PTAバザーの実施。校舎外壁塗装工事完了。
- 9月 陸上大会開催。図書室整備事業が完了し、コンピュータ管理化。音楽部、CBCこども音楽コンクール中部日本大会に出場決定。
- 10月 南中祭で盲導犬育成資金贈呈、KIAを通じてカンボジアへ学用品贈呈。豊田大谷高校野球部監督 中村 豪先生を招いて講演会を実施。
- 11月 3年生進路説明会を実施。幸田町子ども議会に3年生全員が参加。
- 12月 学校保健委員会で演題「薬物依存者からのメッセージ」を聴く。岡崎法務局より人権思想普及の功績で感謝状受賞。
- 1月 2年生普通救命講習会を実施。
- 2月 額田町戦国駅伝でAチームが優勝。東海地震注意情報発令を想定した避難訓練を実施。
- 3月 第21回卒業証書授与式を挙行。（卒業生78名）
平成16年度前期生徒会役員選挙実施。
1年 20kmウォーク、2年 40kmウォークの実施。



【新入生誓いの言葉】



【修学旅行：レインボーブリッジウォーク】



【最終回となった幸田町子ども議会】



【2年生普通救命講習】

音楽部の活躍

～輝け！心に響く伝説のハーマニー～



11月3日、CBC子ども音楽コンクール中部日本決勝大会に出場した音楽部24名は、見事に最優秀賞を受賞し、全国審査への進出を決めた。

各種大会の成績

【郡春季大会】

バレー女子団体	優勝	
剣道男子低学年個人	優勝	野名 航平
剣道女子低学年個人	優勝	三浦はるな
〃	2位	山口 美鈴
弓道女子個人	2位	遠山 美幸

【岡額大会】

卓球男子団体	3位
--------	----

【郡新人戦】

剣道女子団体	優勝	
弓道男子個人	2位	齋藤 恒至
弓道女子個人	2位	夏目喜代里

炎天寺一茶まつり全国小中学生俳句大会

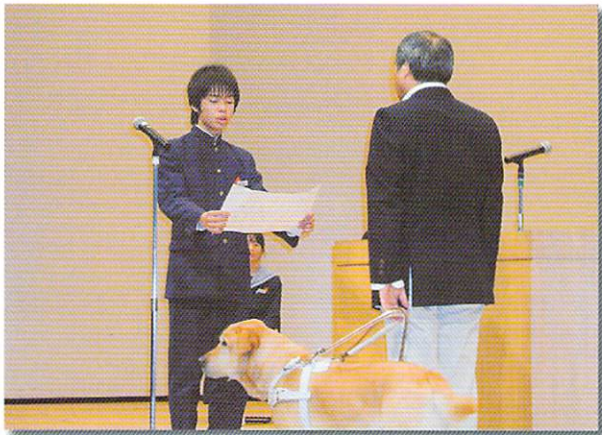
【秀逸作品】

ため息を詰め込み背負う塾カバン	2年	加藤 恭徳
昨年と同じ屋台とのでく夏	2年	稲吉 希美
弓を引く心も震え矢も震え	2年	本多 大介



南中祭 2003

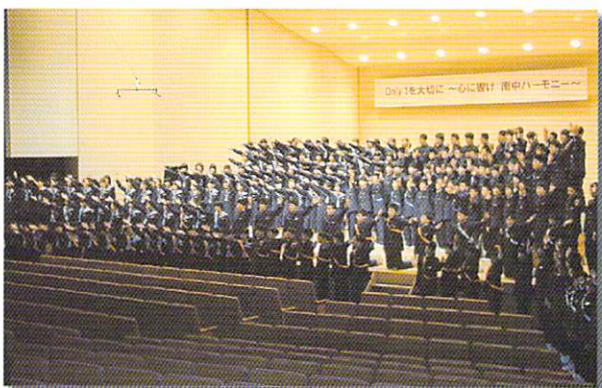
～ONLY ONEを大切に～心に響け！南中ハーマニー～



【南中祭で盲導犬協会へちよボラ募金を寄付】



【2年生による南中ソーラン】



【心を一つにした全校合唱】

～21年目の卒業生のメッセージ～



未来へはばたけ
南部中学校



【不審者対応の避難訓練】

- 4月 平成16年度入学式（入学生72名）・始業式を挙げる。第8代校長として、佐橋正司校長着任。
- 5月 初の不審者対応避難訓練を行う。（岡崎警察署より4名来校）
- 6月 第1回交流会を実施。（11講座）
- 7月 前期総合の日を実施。
- 8月 全校出校日にて、生き方講演会を実施。講師に、JICA（独立行政法人国際協力機構）の派遣専門家 小野岩雄氏をお迎えし、「セネガルからの報告」という演題で講演をしていただく。
- 9月 深溝学区敬老会に福祉委員25名参加。
- 10月 本校を会場として、額田郡英語スピーチコンテストを実施する。南中祭開催。テーマは、「広げようクラスの輪 深めよう学年の輪 輝かそう南中カラー」。光ヶ丘女子高校合唱部のコンサートを鑑賞する。
- 11月 移動町長室開催。近藤町長が来校され、未来の幸田町づくりに向けて3年生との意見交換の実施。
- 12月 学校保健委員会で演題「ダメ絶対・薬物乱用」の講演を聴く。
- 1月 幸田町新春駅伝大会で野球部Aチーム3位。
- 2月 額田町戦国駅伝大会にてAチームが優勝し、三連覇を果たす。
- 3月 第22回卒業証書授与式を挙げる。（卒業生76名）1年 20kmウォーク、2年 30kmウォークを実施。



【剣道部女子 岡額大会で優勝】



各種大会の成績

【郡春季大会】

剣道女子団体の部 優勝

【岡額大会】

剣道女子団体の部 優勝

剣道女子個人の部 2位 三浦はるな

弓道女子個人の部 2位 夏目喜代里

【西三大会】

弓道女子個人の部 2位 山本 磨理

県大会

弓道男子団体の部 3位

【郡新人戦】

バレーボール女子 優勝

剣道女子団体の部 2位

剣道女子低学年の部 2位 城間 梨里

全国学校合奏コンクール愛知県大会 優秀賞

CBCこども音楽コンクール 優良賞

移動町長室 町長さんと語るう!



【未来の幸田町について熱く語る】

条例についてのアドバイス、意見をいただけてとても貴重な時間を過ごすことができました。また、幸田町が岡崎市と合併をしない理由や、幸田町のゴミはどのように処理をされているか、またその費用などの問題についても理解できました。そして今後の幸田町の方針について、知ることができて大変勉強になりました。

(参加生徒感想より)

一 条例について

- 1 みんなの健康を！公共施設内
たばこやめよう条例
- 2 わが町KOT Aの地震対策条例
- 3 蛭びかびか条例

二 町長さんへの要望から

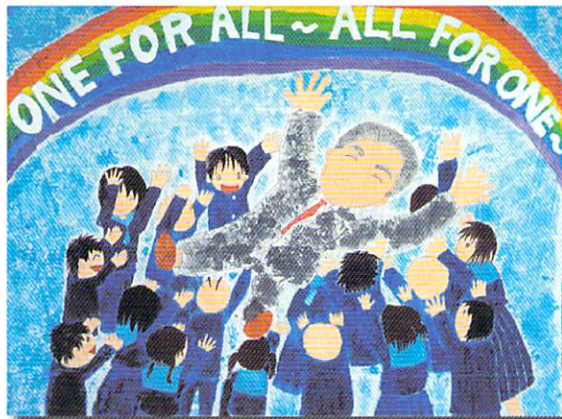
- 1 地域レンジャーを幸田町でも実施してほしい。
- 2 芝のグラウンドとサッカーができる施設を造ってほしい。
- 3 総合体育館を幸田町に造ってほしい。



【幸田町の現状について質問する3年生】

南中祭2004

恒例のビッグアートは
『校長先生を胴上げ』



【光ヶ丘女子高校合唱部のステージ】



【福祉委員会の募金活動】

2005
H.17



学級数 9
生徒数 232名
男子 124名
女子 108名
校長 佐橋正司



【「愛知万博」見学】

- 4月 平成17年度入学式（入学生71名）・始業式を挙げる。
愛知万博の見学を行う。
- 5月 新入生歓迎会・球技大会を実施。
安全対策のため、門扉を閉鎖する。
朝の読書の時間を設定する。
- 6月 3年生修学旅行（東京）、1年生キャンプ学習会（野外教育センター）実施。2年生職場体験学習を行う。
不審者対応防犯訓練を行う。
- 7月 第1回交流会を実施。
弓道女子団体、卓球男子団体、剣道女子個人が西三大会出場。
卓球男子団体が西三大会3位。
- 9月 深溝学区敬老会に福祉委員32名が参加。
- 10月 南中祭にて城西高校和太鼓部公演、PTA役員餅つき実演。
ウィーン・ザイフェルト・コンサートの鑑賞。
- 11月 アウトリーチ事業、マリンバ演奏鑑賞。
福祉実践教室の開催。移動町長室を実施。
- 12月 Do総合の日。（1年生凧作り、2年生名古屋班別学習、3年生英語交流会）
- 1月 幸田町新春駅伝大会で野球部Aチームが2位。
- 2月 南中オリンピック開催。
- 3月 第23回卒業証書授与式を挙げる。（卒業生89名）1年 遠望峰山ウォーク、2年 40kmウォークを実施。



各種大会の成績

【郡春季大会】

卓球男子個人 2位 三浦 智大

【岡額大会】

卓球男子団体 3位

個人 2位 三浦 智大

弓道女子団体 3位

剣道女子個人 3位 山本奈津美

【西三大会】

卓球男子団体 3位

【郡新人戦】

弓道男子団体 優勝

弓道男子個人 2位 櫻井 優希

CBC子ども音楽コンクール 優良賞



【南中オリンピック】

学年行事・DO! DO! DO! の充実



【キャンプ学習】



【遠望峰山で踊ったソーラン】



【中風の部で幸田町教育長賞受賞】

1年生

キャンプ学習会
凧作り
凧揚げ大会参加
遠望峰山ウォーク

2年生

職場体験学習
名古屋班別学習
40kmウォーク・
立志式



【動物病院での職場体験】



【宮崎海岸にて】



【班別学習発表会】



【72名の立志の誓い】



【お台場で学年合唱「大地讃頌」】



【英語交流会】

3年生

修学旅行
東京班別学習

2006
H.18

学級数 9
生徒数 230名
男子 122名
女子 108名
校長 佐橋正司



【初めての1年オリエンテーション合宿】
1年生全員で初めての共同作業85人86脚！
苦戦しながらも歩き抜く団結を見せました。

- 4月 平成18年度入学式（入学生85名）・始業式を挙げる。
本年度より1年生のオリエンテーション合宿（美合・県青年の家）を実施。東海地震を想定した避難訓練を実施。
- 5月 新入生歓迎会、球技大会を実施。
- 6月 3年修学旅行（東京）を実施。学校保健委員会を実施。講師に西尾市教育委員会指導主事 森英子先生を迎え、「睡眠に支配される命」という演題で講演を実施。
- 7月 本年度より、岡額大会が岡幸大会に変更。不審者対応訓練を岡崎警察署指導のもとに実施。町消防署にてAED講習会に職員参加。西三大大会に剣道団体女子、弓道部男子出場。
- 8月 第18回幸田町中学生海外派遣を実施。
- 9月 避難訓練を実施。校内陸上大会を実施。本校のちょぼら募金の活動に対し、社団法人「小さな親切運動」より実行章を受賞。
- 10月 南中祭にて、デンソーより川出千夏氏を招いて「デンソーの社会貢献活動について」という演題で講演を実施。光ヶ丘女子高校ダンス部の舞台発表。
- 11月 アウトリーチ事業として、2年生対象にマリンバの演奏鑑賞。ウィーン・アルカディア・デュオコンサートの鑑賞。
- 12月 生徒指導研修会に講師として名古屋ダルク代表 外山憲治氏を迎え、「薬物乱用者からのメッセージ」という講演を実施。
- 1月 3年生で保育実習を実施。
- 2月 防犯ボランティアパトロールを実施。
- 3月 第24回卒業証書授与式を挙げる。（卒業生72名）1年 学年イベント、2年 40kmウォークの実施。



各種大会の成績

【町春季大会】

バレーボール女子	優勝		
剣道女子団体の部	優勝		
剣道女子個人の部	優勝	大隅	杏奈
剣道女子低学年の部	優勝	野名	未紅
	2位	下村	智菜美
弓道男子個人の部	2位	長谷部	翔
女子総合	優勝		

【岡幸大会】

剣道女子団体の部	2位		
弓道男子団体の部	3位		
弓道男子個人の部	優勝	長谷部	翔

【町新人戦】

剣道男子団体の部	優勝		
剣道女子団体の部	優勝		
剣道女子個人の部	優勝	下村	智菜美
	2位	野名	未紅
剣道女子低学年の部	優勝	大原	加奈恵

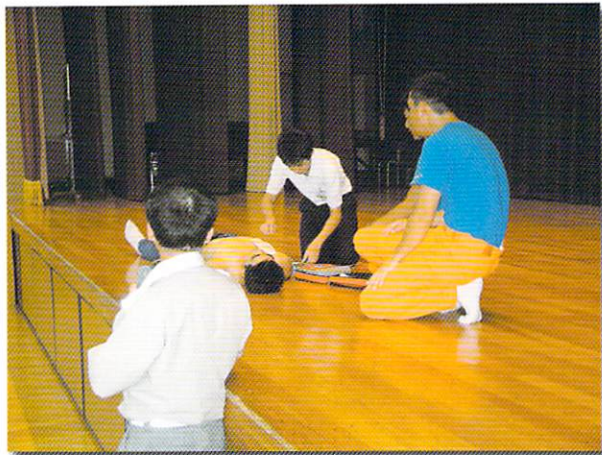
全国学校合奏コンクール愛知県大会 優良賞

CBCこども音楽コンクール 優良賞

全国納税組合連合会主催「税に関する作文」

日本税務協会会長賞 山本 佳奈

充実した生徒会活動



【全校AED講習会】
みんな初めてでドキドキ！



【小さな親切運動実行章】
みんなの取り組みが評価されました♪



【感動の卒業式】

総合学習で作曲を学んだ3人が学年歌を作りました。卒業式で初披露をするなかで、泣きながら歌っている生徒もいました。3年間の思い出が詰まった心温まる合唱になりました。



生徒議会

1年生から3年生まで、全校で話し合える場でした。

あいさつ

あいさつ運動でハツラツ！



福祉

募金でたくさんの命が救えました。
ありがと〜♪



歌声

全校合唱練習。
縦割りで放課を使って練習しました。



学年歌 Sun Rise Sun Shine ~仲間と共に~

作詞：神取 恵利・山本 佳奈
作曲：長谷部 翔

また東の空に太陽が昇る
みんなのあふれる笑顔
心に冷たい雨が降ったときでも
みんながいたから乗り越えられた
Sun Rise Sun Shine 広がる世界
Sun Rise Sun Shine 明日に続く道
みんなで声をからしたあの日
みんなで涙流したあの日
僕らの足跡 楽しかった思い出
明日に向かい僕は歩き始める
Sun Rise Sun Shine 広がる世界
Sun Rise Sun Shine 明日に続く道
僕らが切り開く道はいくつにも枝分かれする
それでも僕は仲間といっしょに
ずっとずうっと輝き続ける
Sun Rise Sun Shine 広がる世界
Sun Rise Sun Shine 明日に続く道
Sun Shine 僕らの未来へと
LA LA LA LA LA AH

部活動



2007

H.19

学級数 10
 生徒数 243名
 男子 129名
 女子 114名
 校長 佐橋正司

- 4月 平成19年度入学式（入学生84名）・始業式を挙行。1年生オリエンテーション合宿を愛知県青年の家（美合）で実施。全国学力・学習状況調査の実施。（3年生）
- 5月 新入生歓迎会、その後校内球技大会を実施。福祉委員が学区のごみ拾いを実施。幸田町春季大会を土曜日に実施。3年生修学旅行（東京方面）を実施。
- 6月 授業・部活動公開を実施。『すてきハート事業』の一環で全クラス道徳の授業を公開。生徒会執行部があいさつ運動を実施。
- 7月 福祉実践教室を実施。全体講話では、『三河のエジソン』と呼ばれる加藤源重さんのお話を聞く。地域の講師を招いて、12講座で交流会活動を実施。（年5回）ちょぼ募金を実施。
- 8月 有志67名が「まどかの郷」など8か所でボランティア体験活動を行う。2年生職場体験学習（3日間）を実施。
- 9月 校内陸上大会を実施。保護者も参加できるレクリエーション種目を実施。
- 10月 南中祭・25周年記念式典を町民会館で行う。記念公演（津軽三味線 神谷茂良氏）合唱コンクールの後、卒業生が歌を披露。（歌：大久保亮さん・伴奏：山本多恵佳さん）
- 11月 音楽アウトリーチ事業。進路説明会－私立高校の説明会については、2年生も加えて選択制で実施。

各種大会の成績

【町春季大会】

剣道男子団体の部 優勝
 剣道女子団体の部 優勝
 剣道男子個人の部 優勝 平松 治恵
 剣道女子個人の部 優勝 下村智菜美

【岡幸大会】

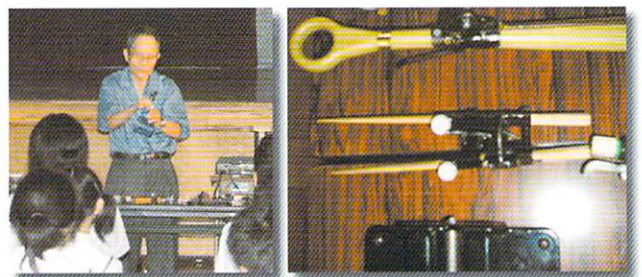
剣道女子個人の部 2位 野名 未紅
 西三大会
 弓道女子団体の部 3位
 個人の部 2位 上田 翔美
 剣道女子個人の部（県大会出場）野名 未紅

【町新人戦】

剣道女子団体の部 優勝
 男子個人の部 優勝 花井 達也
 女子個人の部 優勝 大原加奈恵

CBC子ども音楽コンクール 優良賞

福祉実践教室



【加藤源重さん】

【発明した「はし」】

源重さんは、56歳で指を全部切ってしまって、とてもつらかったと思います。しかし今では、右手は宝物といっている姿はとても感動しました。また、『**勇気は持つものじゃなくて出すもの**』だとか、『**結果を出すまではやいとげる**』と聞いて、これからの生活に生かしていきたいと思いました。
 （生徒感想）



【福祉委員地域清掃】

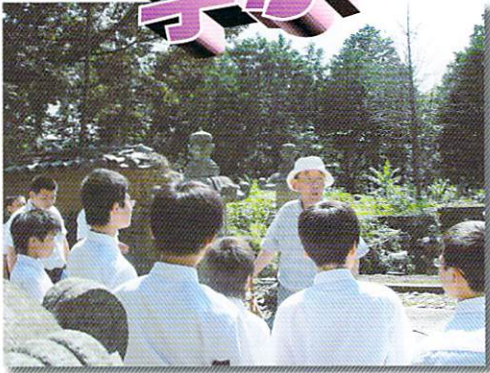
全クラス道徳の授業公開



交流会ますます充実



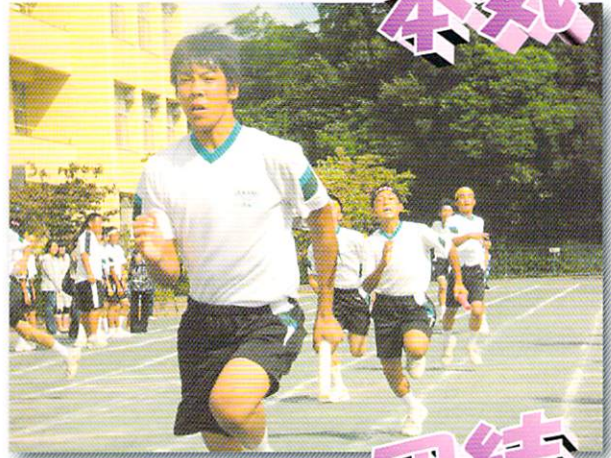
学ぶ



- 「歴史」
- 「点字」
- 「茶道」
- 「華道」
- 「和太鼓」
- 「陶芸」
- 「ちぎりの絵」
- 「ペーパークイリング」
- 「伝承遊び」
- 「ゲートボール」
- 「箏」
- 「絵手紙」

陸上大会

本気



団結



保護者・兄弟・先生も

楽

南中祭

25周年・この輝きの先へ



【小さな努力の結晶ビックアート】



【神谷茂良氏公演…津軽三味線】



【大久保さん（独唱）と山本さん（ピアノ）】

記念品

部旗・生徒会旗



プロジェクター



デジカメ一眼レフ



25th



校歌

作詞 岩瀬ひろし
作曲 服部 良一

一 仰ぎ見る とほねの山よ
すきとおる みどりの風よ
この庭に この窓に
練磨 探究 友情の
やりぬく心 たくましく
伸びゆく 南部中学校

二 欧清き 三河の海よ
ふるさとに 幸呼ぶとどろ
この町に この土に
双葉すくすく 健やかな
向学のぞす 若き眉
輝やく 南部中学校

三 美しき 希望を胸に
大空へ 羽ばたくつばさ
この生命 この力
世界の友と 手をつなぎ
平和の明日を 担いたつ
われらの 南部中学校

発行 平成20年1月
創立25周年記念事業実行委員会
額田郡幸田町立南部中学校